

直腸切除術（ストーマ造設あり）を受けられる方へ

月日（日時）	／		／	
経過（病日等）	手術前日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後1日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術に必要な準備を理解することができ、安全に手術を受けられるようにしましょう。 人工肛門（ストーマ）についてイメージしてみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に手術を受けられるよう準備を整えましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 安静を守り、痛みや苦痛があるときは、看護師に知らせましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつ歩く練習をしましょう。 痛みが強いときは看護師に知らせましょう。
点滴	<ul style="list-style-type: none"> 点滴があります。 			
薬	<ul style="list-style-type: none"> 現在内服している薬を確認します。 内服薬の継続については、医師または看護師から説明します。 14時に下剤を内服します。排泄状況によっては追加の下剤内服が必要になることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な内服薬については、医師又は看護師から説明します。 	<ul style="list-style-type: none"> ありません。 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて検査が入ることがあります。 		<ul style="list-style-type: none"> 血液・尿検査とレントゲンがあります。 	
処置	<ul style="list-style-type: none"> 感染予防のためにお臍の掃除と必要な範囲の除毛をします。 人工肛門の位置を決めるため、お腹に印をつけます。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術の呼び出しがありましたら、手術着に着替えて、弾性ストッキングをはきます。 パンツは着用できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室でお腹に管（ドレーン）、肛門に減圧チューブが入ってきます。場合により、鼻からの管（胃管）も入ってきます。 背中からは痛み止めの管（硬膜外麻酔を施行した方のみ）が入ってきます。 酸素の吸入を翌日の朝まで行ないます。 血栓予防のため足にフットポンプ（ふくらはぎのマッサージ器）が付きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、医師が創部の確認をします。 鼻の管（胃管）を抜く予定ですが、状態をみて判断します。 フットポンプは朝の着替えの時にはずします。
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 		<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静になります。 寝返りはできます。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行可能となります。最初の歩行時は必ず看護師が付き添いますのでナースコールでお知らせください。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 食事療法をされている方、アレルギーのある方はお知らせください。 昼食は流動食、夕食は欠食となります。それ以降は禁食ですが、22時までは自由に水やお茶を飲むことができます。22時以降は少量のみの水分摂取となります（水、お茶、OS-1などのクリアウォーターのみ）。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝7時以降すべて禁飲食です。 2番目以降の手術の方のみ、手術予定の2時間前まで少量の飲水はできます。 		<ul style="list-style-type: none"> 飲水（水とお茶のみ）とアメ玉のみ可能となります。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 点滴がはじまる前にシャワー浴ができます。手術のために身体をきれいにしましょう。 爪もきれいに切りましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴はできません。 朝の洗顔は可能ですが、クリームなどはつけないようにしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴はできません。 夜、顔を拭くためのタオルをお持ちします。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。パジャマへの着替えをお手伝いします。 
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 下剤内服後の排便状況を確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝までの排便状況を確認します。 朝までに排便がない場合は浣腸をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後は尿の管が入っています。 排便はベッド上となります。 	
患者様への説明 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活について説明します。 手首にリストバンドをつけます。 手術に必要な物品を確認します。 医師から手術について説明があります。 手術に関する同意書を確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室へ出発するときには、時計、眼鏡、義歯、湿布、指輪、ヘアピン、かつら、補聴器等を外してください。 リストバンドがついているか確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術室でご家族に手術についてお話しします。手術室から呼び出しがありましたら看護師がお知らせしますので、それまでは病棟のラウンジで待機してください。 	

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。








直腸切除術（ストーマ造設あり）を受けられる方へ

月日（日時）	/	/	/	/	/
経過（病日等）	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目	手術後6日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつ歩ける範囲を上げましょう。 痛みが強いときは看護師に知らせましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつ歩ける範囲を上げましょう。 痛みが強いときは看護師に知らせましょう。 無理のない範囲で食事を慣らしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ストーマ装具より便破棄を看護師とともに行ってみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 排便がないときは看護師に伝えましょう。 ストーマケアに積極的に参加しましょう。 	
点滴	<ul style="list-style-type: none"> 点滴があります。 			<ul style="list-style-type: none"> 食事摂取が十分あり、便の性状が固まってきたら点滴は終了になります。 	
薬	<ul style="list-style-type: none"> 手術前に内服していたお薬が必要なものは再開する予定ですが、医師又は看護師から説明します。 	<ul style="list-style-type: none"> 創部の痛みが強い場合は痛み止めの薬もあります。我慢せず、医師又は看護師に相談してください。 食事開始後、ストーマより水様便の排泄が増えます。整腸剤や下痢止めの内服を開始します。 			
検査		<ul style="list-style-type: none"> 採血・レントゲンがあります。 			
処置	<ul style="list-style-type: none"> 朝、医師が創部の確認を行いません。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、医師が創部の確認をします。 手術後3日で背中痛み止めの管を抜く予定です。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、医師が創部の確認をします。 手術後4～6日で肛門の管を抜きます 手術後5～7日でお腹の管を抜く予定です。 		
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 <div style="text-align: center;"></div>				
食事	<ul style="list-style-type: none"> シャーベット、汁物（具なし）は摂取できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 流動食が開始になります。 <div style="text-align: center;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> 全粥食が開始になります。 	<ul style="list-style-type: none"> 常食が開始になります。 	
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 体調に合わせて適宜、体を温かいタオルで拭きます。 洗髪を希望される時は、お手伝いします。 お腹の管が抜けるまでは、シャワー浴はできません。 				
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 背中痛み止めの管がなければ尿の管を抜きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 背中痛み止めの管が抜けたら、尿の管を抜きます。抜いた後は蓄尿袋に尿をためていただきます。看護師が説明します。 	<ul style="list-style-type: none"> 指示があるまで、引き続き尿をためてください。 		
患者様への説明 生活指導		<ul style="list-style-type: none"> ストーマ装具交換を行いません。看護師が伺います。 	<div style="text-align: center;"></div>	<ul style="list-style-type: none"> ストーマ装具交換を行いません。 可能であれば、ご家族も一緒に装具交換に参加してください。 今後は状態に応じてストーマ装具交換日が決まります。 	<div style="text-align: center;"></div>

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。

直腸切除術（ストーマ造設あり）を受けられる方へ

月日（日時）	/	/	/	/	/
経過（病日等）	手術後7日目	手術後8日目	手術後9日目以降	手術後12日目前後で退院	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 歩行リハビリを続けましょう。少しずつ歩ける範囲を広げましょう。 ストーマ装具をご自身または家族の協力を得て交換できるようになり、ストーマをもちながらの生活がイメージができるようになりましょう。 退院に向けて不安なことは医師又は看護師に相談し、退院の準備を整えましょう。 			<ul style="list-style-type: none"> 退院に向けた歩行リハビリを続けましょう。 ストーマ装具をご自身または家族の協力を得て交換できるようになりましょう。 退院に向けて不安なことは医師又は看護師に相談しましょう。 	
点滴	<ul style="list-style-type: none"> 食事摂取が十分量あり、便の性状が固まってきたら点滴は終了になります。 				
薬	<ul style="list-style-type: none"> 創部の痛みが強い場合は痛み止めの薬もあります。我慢せず、医師又は看護師に相談してください。 ストーマより水様便の排泄が続く場合、下痢止めの内服量を調整します。 				
検査	採血・レントゲンがあります。				
処置	お腹の管を抜く予定です。	創部の確認を行いません。	<ul style="list-style-type: none"> 今後も創部の確認が必要な場合があります。 		
活動 安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。    				
食事	<ul style="list-style-type: none"> 常食が摂取可能になります。 	<ul style="list-style-type: none"> よく噛んでゆっくり食べましょう。 			
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 体調に合わせて適宜、体を温かいタオルで拭きます。 洗髪を希望される時は、お手伝いします。 お腹の管が抜けるまでは、シャワー浴はできません。 	<ul style="list-style-type: none"> お腹の管が抜ければ、シャワー浴が可能になります。 			
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 指示があるまで、引き続き尿をためてください。 お腹が張る症状が続く場合や水様便が続く時は、医師又は看護師に相談してください。 				
患者様への説明 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> ご家族と共に、もしくはお一人でストーマ装具交換を行なえるように、看護師と一緒に交換します。 状況に応じてストーマ装具交換日が決まります。 術後の食事について栄養士より栄養指導があります。日程は前後する可能性があります。 			<ul style="list-style-type: none"> 主治医より今回の治療の経過や退院後のことについて説明があります。 別紙にて次回外来日について説明します。 	

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。